

国会議員・候補者

全力

## 清水衆院議員 ロングラン宣伝「追いつけてる。トコトコ対話を」

清水ただし衆院議員は23日、午前の天神橋筋商店街、午後の福島区内での宣伝に続き、18時から20時まで南森町でロングラン宣伝。清水議員のツイッターでの呼びかけにこたえて、平野区や東大阪市から駆け付けてくれた人もいました。

「5年前には賛成したけど、今回はネットなんかで色々調べて夫とともに反対に決めました」という人や、「自分の住んでいるマンションにビールを入れたいので少し多めにもらえますか」と声をかけてきた女性も。

清水議員は宣伝後、「これからも、『迷っている』人や『よくわからない』という人、関心の薄い人達にも、大事な住民投票に関する情報を冷静に提供するという姿勢を心がけて訴えていきたいと思います」「間違いなく追いつけていると思います。とことん対話を広げていきましょう」と参加者に呼びかけ、励まし合いました。



## 宮本前衆院議員 公明議員も「特別区は不利益に」と答弁。迷ってる人も「反対」を



宮本だけし前衆院議員は、23日夕方、西淀川区の阪神千船駅前でもマイクを握りました。

「住民投票を規定した大都市法が議論された時、衆院総務委員会で質問に立った。なぜ住民投票が必要かとの私の問いに、提案者である公明党の方が答弁で、『一般市が中核市や政令市に格上げする時には投票は必要ない。政令市を特別区にするというのは格下げになり、住民にとって不利益になる可能性があるから、住民に聞く必要がある』とはっきり言った。後戻りはできません。迷っている人もしっかり反対と書きましょう」と訴えました。

宮本さんは、この後、西九条駅で「日替わりビール」の配布、さらに同場所での青年たちとのお帰りのなさい宣伝にとりくみました。

## 大門参院議員 時代遅れのカジノ。孫子の代まで借金。いま止めよう

大門みき参院議員は24日、2か所で、わたなべ結・党衆院大阪3区候補とトークセッション宣伝。住之江区の団地前では、小さな子どもを連れた子育て世代など30人ほどの聴衆に。

「特別区といっても半人前の自治体。初期費用もかけて、なぜそこまでこだわるの？」というわたなべさんの問いに、大門議員は、「維新がやりたいのはカジノ。しかしコロナ禍でカジノ企業は出資できない。海外からのお客さんも来られない。大規模な集客施設は三密になる。いまやネットでできるオンライン・カジノへ移行。維新がすすめようとする大型集客施設はビジネスモデルとしては時代遅れ。にもかかわらず、大阪市を廃止して自由に使えるお金を一本化して、そのような施設を作ろうとしている。いま止めないと税金がドブに捨てられるだけでなく、孫の代まで借金を残すことに。ここで大阪市廃止を止めよう」と呼びかけました。



## 20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 58(2020. 10.24)

# 弾む対話、「反対に変わった」次々 各地の報告から

【西淀川メールニュースより】

〇区役所前のスタンディングで、赤ちゃんを抱いた若いお母さんが「なんで反対しているんですか？パンフを読んだけど分からない」と。政令指定都市でなくなればどうなるかなど20分くらい話して「よく分かった」とチラシも受け取ってくれた。

〇労組で保育所前宣伝。住民投票は知っているが、内容がよく分からず判断しにくいという声が多い。内容を伝えると「それは困る」と反対になった人も数人。維新の宣伝を聞いて賛成と考えていたが反対に考え直すという人も。

〇千船駅では、「橋下さんが好きで追っかけもしていた」という女性が「大阪市つぶしたらあかん。反対や」とピラを受け取ってくれた。

〇スポット宣伝中に家から出てこられた方と対話。「昨日、公明党の方が家に来て、大阪市が廃止になったら困るから反対してほしい」と言っていた。

## 若い人の反応がいい

【此花区西九条駅前お帰りのさい宣伝で】

23日夜8時から1時間あまり、シール投票をおこないました。46人と対話し、賛成6、反対35、わからない5という結果。全体として、若い人は反対が多く、賛成でもピラを持ち帰るなど「聞く耳がある」という感じでした。逆に、強い維新支持者や中年男性で賛成の方などは、ピラすら受け取りませんでした。

「此花区が合区でなくなるのは嫌」という年配の男性、「自分は反対だ」という青年もいましたが、「大阪市廃止の住民投票とは知らなかった」という青年や、はじめは「わからない」にシールを貼ったけど、中身を知って驚いて反対に貼りなおしたカップルなど。

取り組んだ方は、「あなたの今の段階の考えを聞かせてください」「私たちからの情報提供です（ピラを渡す）」「投票には行きましょう」との呼びかけが、反対票を伸ばす活路だと思ったと語っています。

## 「学会員 公明党は何で変わったん」の質問に答えられず 日曜版読者の話 60代女性の日曜版読者。「近

所の学会員が来た。私は『絶対反対。都構想でどこがええの？公明党は前は反対というたのに何で変わったの』と聞くと、どこがええかには答えず、血相変えてしゃべり始めた」とのこと。「面白かったよ」と話してくれました。（淀川区・三津屋支部からの報告）

## 東大阪市長が「都」構想に苦言

### 「毎日」が報道「優秀な職員も理解できない。大阪市民は？」

毎日新聞（22日付）が、東大阪市の野田義和市長が定例記者会見で「具体的な制度設計について、我々には説明のない状況が続いている」と苦言。大阪府・市が行った府内市町村の事務担当者への説明会（19日）についても「優秀な職員を行かせたつもりだが、理解できる説明でもなかった」とのべ、「大阪市民には理解できているのか」と疑問を呈しました。



淀川区・三津屋支部の宣伝で

